

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年9月22日(2022.9.22)

【公開番号】特開2021-94162(P2021-94162A)

【公開日】令和3年6月24日(2021.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2021-028

【出願番号】特願2019-226823(P2019-226823)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 650

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月13日(2022.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【請求項1】

所定のエラー状態となる場合を有し、

特定のエラー状態となる場合を有し、

電源断処理において、所定の記憶手段に記憶されている情報に基づいて、誤り検出情報を生成して記憶可能とし、

前記所定のエラー状態において、電源の供給が遮断される事象が発生した場合には、電源断処理を実行可能に構成され、

前記特定のエラー状態において、電源の供給が遮断される事象が発生した場合には、電源断処理を実行しないように構成されており、

前記所定のエラー状態であっても、前記所定の表示手段に遊技履歴情報が表示可能であり

30

前記特定のエラー状態では、前記所定の表示手段に遊技履歴情報が表示されず、

前記所定のエラー状態は、リセットスイッチの操作により解除可能であり、

前記特定のエラー状態は、リセットスイッチの操作により解除されず、

前記特定のエラー状態は、設定変更を伴う電源投入を行うことにより解除可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する(かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。)。

本発明(第41実施形態)は、

所定のエラー状態(復帰可能エラー状態)となる場合を有し、

特定のエラー状態(復帰不可能エラー状態)となる場合を有し、

電源断処理(図360の電源断処理(I_POWER_DOWN))において、所定の記憶手段(RWM53の使用領域のアドレス「F000(H)」~「F1FF(H)」、及び使用領域外のアドレス「F210(H)」~「F3FF(H)」)に記憶されている情報に基

40

づいて、誤り検出情報（RWMチェックサムデータ）を生成して記憶可能とし、前記所定のエラー状態において、電源の供給が遮断（電源がオフに）される事象が発生した場合には、電源断処理を実行可能に構成され、前記特定のエラー状態において、電源の供給が遮断される事象が発生した場合には、電源断処理を実行しないように構成されており、前記所定のエラー状態であっても、前記所定の表示手段に遊技履歴情報が表示可能であり（図359の割込み処理により、ステップS2221の比率表示準備を実行し）、前記特定のエラー状態では、前記所定の表示手段に遊技履歴情報が表示されず（図359の割込み処理において、ステップS2811（復帰不可能エラー処理2）に進むとその後は割込み処理を実行せず）、前記所定のエラー状態は、リセットスイッチ（153）の操作により解除可能であり（復帰可能エラー状態となつた場合であっても、図359の割込み処理を実行し、図359のステップS457においてリセットスイッチの操作を検知し）、前記特定のエラー状態は、リセットスイッチの操作により解除されず（復帰不可能エラー状態となつたときは、図363に示すように、リセットスイッチの操作を検知せず）、前記特定のエラー状態は、設定変更を伴う電源投入を行うことにより解除可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50